

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391400260
事業所名	グループホームファミリア神の倉

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	今年度は4年ぶりとなった中学生の職場体験をはじめ、敬老会、クリスマス会といったイベントにはボランティアを受入れ、活気が戻りつつあります。近隣との挨拶にはじまり野菜のおすそ分けもありますが、今後は、地域から通う職員が発信源となることも視野に入れ、事業所の認知度が高まることを目指しています。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	今年度より通常開催として、いきいき支援センター職員、社協後見人、利用者が出席し、事業所の利用状況や活動、ヒヤリ・アクシデント報告をおこなっています。出席できない自治会長、民生委員へも議事録を届けて取組みを伝え、地域密着型サービスとしての役割が果たせるよう、出席メンバーを増やす方を話合っています。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	離設があった際には徳重支所の協力で大事に至らなかったこともあり、情報を共有しながら「困ったことがあれば相談を」との言葉ももらえています。いきいき支援センター職員は毎回運営推進会議への出席があり、運営における相談にも応じてもらっています。入居紹介後、受入れの際には詳細な情報提供があり、入居後の支援にも連携が図られています。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	時に家族からの苦言もありますが、事業所の課題として受け止め、一つずつ改善策をもって対応しています。毎月発行する「神の倉通信」は紙面いっぱい写真が掲載され、利用者がレクリエーションや趣味に打ち込む真剣な様子、とびきりの笑顔、おどけた表情が豊かに映し出されています。利用者担当職員を定め、日常会話からのつぶやきを聞き逃さず、実践につなげています。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

--

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	—	—	—	—	—	—	—	○	○	×	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	○	○	○							